

平成 19 年 1 月 31 日

各 位

軟弱地盤研究会（第 39 回）のご案内

会長 三浦哲彦

日 時：平成 19 年 2 月 27 日（火） 14 時～16 時

場 所：建設業協会佐賀、2 階会議室

佐賀市兵庫南 2-13-15 電話 0952-24-2711

話 題：『軟弱地盤における複合地盤基礎の適用』

講演者：九州共立大学工学部都市システム工学科教授 前田良刀 氏

次の講演概要をいただきましたのでご案内します。

複合地盤基礎は、地盤改良体と杭からなる新しい複合基礎形式である。本基礎形式は、軟弱地盤において、杭が水平抵抗に関与する深さまで地盤改良体が存在し、従来の杭基礎に比べて、大きな水平抵抗を期待することができる。したがって、杭径の縮小化や杭本数の削減等により、建設に伴う排土量や使用材料を抑えることができ、環境負荷低減に繋がる基礎形式と考えられる。

本基礎形式の技術的特徴は、別紙の Fig-1, Fig-2 に示すように地盤改良体と杭を一体化し複合構造体としたもので、地盤改良体の剛性と前面受働抵抗や周面摩擦抵抗などにより基礎の水平支持力を向上させようとするものである。この基礎の実務への積極的な適用を図るため、原位置や室内において支持力特性に関する幾つかの載荷試験および数値解析を実施してきている。

今回は、これまでの一連の検討により得られた複合地盤基礎に関する技術的成果や課題について紹介するとともに、関連する新しい基礎の今後の可能性についても議論をしたい。

※参加希望の方は必ず事前にメール、または FAX でご連絡ください。

当日の申し込みは出来るだけご遠慮下さい。

※参加費：当研究会の個人会員および特別会員は参加費無料。

それ以外の方は資料代（¥500）。

=====
研究会担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: jimukyoku@sunny.ocn.ne.jp

Tel:0952-41-8840/Fax:0952-41-8373

Address:〒840-0811 佐賀市大財 4 丁目 1 番 52 号

軟弱地盤研究会事務局

=====

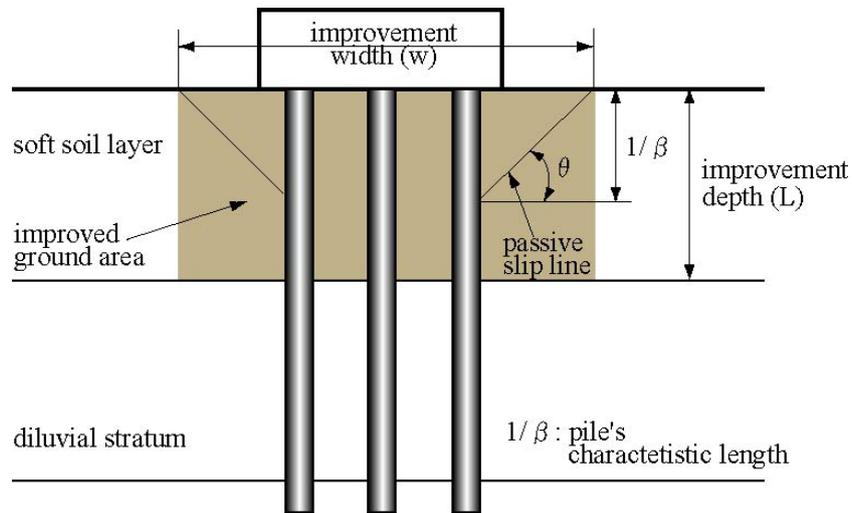


FIG.-1. TYPE I: BASIC TYPE (Maeda, et al., 2007)

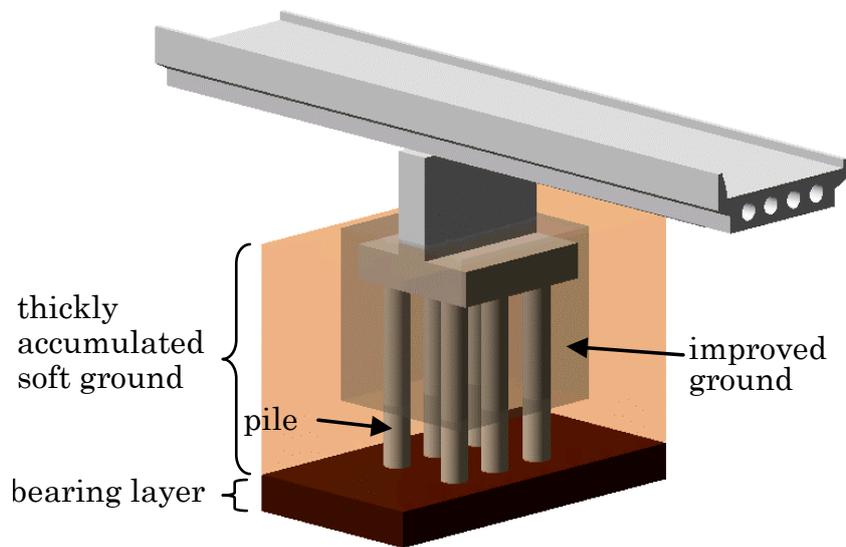


FIG.-2. TYPE II: FLOATING TYPE (Maeda, et al., 2001, 2006)

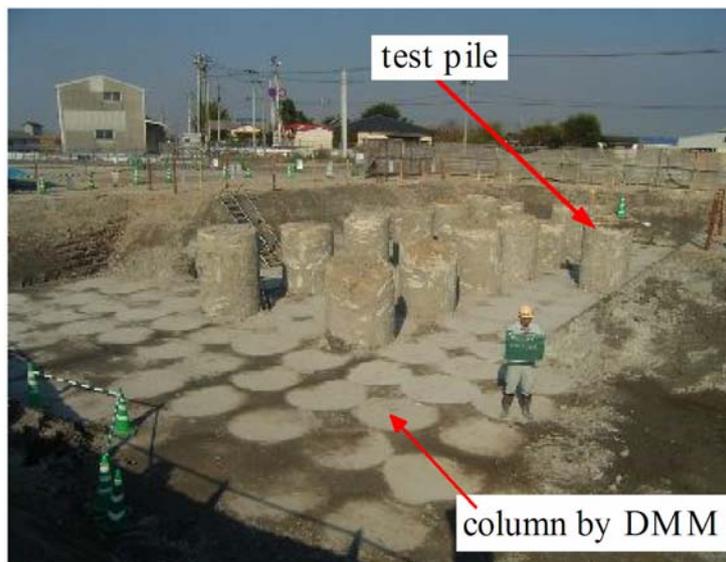


PHOTO-1. CAST-IN-PLACE PILES IN A COMPOSITE GROUND FOUNDATION

(有明海沿岸道路での例)